



新桂沢・熊追発電所 更新工事かわら版

工事状況

熊追発電所改造工事 進捗

2019年10月から2019年12月にかけて、熊追発電所改造工事現場では本紙No.6号から引き続き“よう壁”設置に伴うコンクリート打設が行われました。

10月の時点では西側よう壁の一部が見えるようになった状態でしたが、12月の冬期休工直前の段階では発電所敷地かさ上げ用よう壁の全貌が見て取れるようになりました（写真①）。

熊追発電所改造工事は、冬期休工を経て2020年3月から工事を再開しました。現在は完成したよう壁の中に土を入れ、敷地のかさ上げを行う“盛土”という工程を実施中です。

上記工事以外にも、本年度は屋外機器および天井クレーンの設置工事、発電所建物の新築などを行いますので、工事進捗に合わせてそちらの様相もお伝えしていきます。



写真① 2019年12月末の熊追発電所

新桂沢発電所新設工事 進捗

No.6号発行後の新桂沢発電所工事現場では、冬期間も継続して工事作業が行われていました。10月末時点で発電所の中にあつた水車発電機や屋外開閉所（※発電所で作った電気を送電線へ流すスイッチの役割を果たす設備）の撤去は完了し、その後更に撤去された設備の基礎にあたる部分の取り壊しを行って、設備更新への準備を進めています。（写真②）

これらの工事と並行して、導水路（※発電のためにダムから取った水を発電機まで流す管）の内部点検や、発電所運転開始後に導水路の保守作業を効率化・高度化するための工事も行われています。

本年度の主な工事内容は水車発電機の据付、資材運搬用の索道（ロープウェイ）設置、調圧水槽のかさ上げなどになります。



写真② 水車発電機基礎取壊しの様子

今回のトピック

地域共生活動

2019年10月23日、NPO法人「三笠森水遊学舎」の主催する「幾春別川クリーン大作戦」に弊所と弊社桂沢電力所から所員が参加致しました。

当日は桂沢国設スキー場付近に集合し、そばを流れる幾春別川の川沿いを清掃していきました。ゴム手袋やビニール袋に始まり、川沿いの草木が生い茂ったところには大量の酒瓶などもあり、大変清掃のやり甲斐がありました。

また、2020年4月7日には三笠市清住町にある「ふれあいの里」周辺の清掃活動を弊所と桂沢電力所、JPハイテック桂沢事業所と合同で実施致しました。雪解け後ということもあり普段以上の成果となりました。(写真③・④)

弊社は本年度も、三笠市における催事への協賛やお手伝い、ボランティアなどの共生活動を通して地域の皆様との交流を深めていくことを目指していきます。



写真③・④ 清掃活動の様子

<参考資料>

計画概要

新桂沢・熊追発電所更新工事計画は、北海道開発局が幾春別川総合開発事業の一環として既設桂沢ダムの嵩上げをするのに伴い、桂沢発電所と熊追発電所の設備改造および補強を行い、併せて老朽化した水車・発電機他の更新を行うことによって、嵩上げ後の新桂沢ダムに新たに発電参加するものです。

発電所更新計画

■新桂沢発電所

既設桂沢発電所は、ダム水位上昇のため廃止し、既存水路の改造・補修、調圧水槽の改造、水車発電機の全面更新を行い「新桂沢発電所」とします。有効落差増により出力は15,000kWから16,800kWに増加する計画です。

■熊追発電所

ダム水位上昇に伴う冠水対策として、敷地嵩上げ工事を実施します。併せて老朽化した既存水路の改造・補修を実施するとともに、水車発電機の全面更新により出力を4,900kWから5,100kWに増加する計画です。

発電計画諸元表

項目	単位	桂沢発電所	新桂沢発電所	熊追発電所	更新熊追発電所	
河川名	-	石狩川水系幾春別川		石狩川水系空知川支流芦別川		
発電方式	-	ダム水路式	同左	ダム水路式	同左	
ダム	ダム名	桂沢ダム	新桂沢ダム	芦別ダム	同左	
	形式	重力式コンクリート				
	高さ	63.6	75.5	22.8	同左	
	貯水容量	10 ⁶ m ³	81.8	136.4	0.21	同左
	HWL	EL.m	187.0	193.1	335.0	同左
LWL	EL.m	158.0	同左	334.0	同左	
発電機 (出力×台数)	kVA×台	9,000×2	9,400×2	5,500×1	5,700×1	
発電 計画	有効落差	m	75.0	81.5	146.4	146.0
	最大使用水量	m ³ /s	23.5	同左	4.0	同左
	最大出力	kW	15,000	16,800	4,900	5,100
	運転開始予定	-	2022年6月		2022年4月	

※増減がある部分は赤字で表記

<<発行元>>

電源開発株式会社 新桂沢水力建設所

〒068-0825 北海道岩見沢市日の出町2-4-9

TEL : 0126 (25) 7050 FAX : 0126 (25) 7113

問い合わせ先：総務グループリーダー 青柳